

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。新しい一年が皆さんにとって素敵な一年になりますように。2026 年、最初の『図書館でめぐる郷土～八尾市史編～』のテーマは「河内平野の歴史」です。今から 1 万年前、気候の温暖化によって氷河がとけ、日本は大陸から切り離されて現在の列島の形になりました。河内平野も様々な姿を変えてきた歴史があります。

シリーズ
図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

第五十回
かわちへいや
『河内平野の歴史』

約 3 万年前、気候は寒冷で海水が氷や雪となって氷河を形成していました。海面は今より約 100m 低く、現在の大阪湾や瀬戸内海も陸地でしたが、1 万 2,000 年前頃になると気候の温暖化に伴って氷河がとけて海面が上昇したことで日本と大陸の間が海で隔てられ、日本列島がほぼ現在のような形になりました。その後も温暖化による海面上昇が進み、約 6,000 年前には上町台地の北から入り込んだ海水によって、北は現在の高槻市付近、南は現在の八尾市北部まで「河内湾」と呼ばれる海が広がっていました。大竹西遺跡や東郷遺跡、池島・福万寺遺跡では今の地面より 10m 以上深い地層でハマグリやマガキなどの貝殻が、東大阪市東部の布市町ではマッコウクジラの骨が見つっています。恩智遺跡からは縄文土器や石の矢じり、シカやイノシシ、タイの骨が出土しており、人々が弓矢を用いた狩りを行い河内湾の魚や貝を食料に生活していたことが明らかになっています。また、同遺跡からは東北地方の土器も出土しており、久宝寺遺跡、田井中遺跡、池島・福万寺遺跡からは中部地方(長野県)の土器が出土していることから、当時の人々が物資の交換などを通じて広範囲に交流を持っていたと考えられます。

海面の上昇が収まると、約 5,500 年前頃から淀川と旧大和川の土砂が三角州を成長させ、河内湾を埋め立てて陸地が拡大、縄文時代後期から晩期には河内湾は「河内潟」と呼ばれる干潟が広がる潟湖となりました。弥生時代には河内潟は徐々に陸化し、河内湾の出口が上町台地北端の砂州の成長や淀川デルタの成長によって閉塞され、河内潟は最終的に淡水になり、「河内湖」と呼ばれる湖に変化していきました。しかし、上町台地北側の砂州は排水を妨げて洪水や高潮の原因となっていたため、仁徳天皇 11 年(323 年)、河内湖の水を大阪湾に排水できるように土地を掘削して川が引かれ、その川は「堀江」と名づけられました。これが現在の「大川(都島区と北区の境を流れる川)」です。

やがて河内湖も土砂によって埋積されてゆき、「河内平野」が形成されました。弥生時代前期になると豊かな水量と肥沃な土壌に恵まれ、水田を作るに適した土地であった河内平野に稲作が定着します。しかし標高が低いため、大雨が降ると旧大和川水系の水害に度々襲われました。山賀遺跡では洪水による砂の層が 1m 以上も水田面を覆う場所もあり、旧大和川などの被害を受けていたことが分かります。また、砂の層を除いた水田面には人間の足跡が多数見つっています。八尾市に残る数々の遺跡はこうした水害の歴史や昔の人々の暮らしを現代に伝えるものであり、新たな発見を得るべく、今も発掘調査が続けられています。



参考資料

『新編古典文学全集③ 日本書紀②』2013 年 4 月 小島憲之・蔵中進ほか/校注・訳
『河内学の世界』2015 年 5 月 大阪経済法科大学/編
『物語 八尾の歴史』2016 年 3 月 八尾市教育委員会生涯学習部文化財課市史編集室/編
『新版八尾市史 通史編①』2023 年 3 月 八尾市史編集委員会/編
『水都大阪の教科書』2024 年 4 月 橋爪紳也・嘉名光市/監修

【写真】大竹遺跡で見つかった貝の化石
『新版 八尾市史通史編①』より

1月のTopics & Information



-Topics

OPAC（図書検索機）の使い方

資料を検索し、今いる図書館にない本は予約できます。
(事前にパスワード発行が必要です。)

予約したい資料に☒を入れ、予約を押すと
選択している資料の予約画面に移ります。
上下巻などシリーズ順に読みたい時は、
「順番予約」も可能です。

【アイコンの意味】

- 自館にあり …この図書館にあります。予約はできません。
- 他館にあり …八尾・山本・志紀図書館にあります。
予約をして取り寄せできます。
- 貸出中 …貸出中です。予約できます。
- 禁帯出 …貸出禁止の資料です。予約はできません。

-Information イベントのご案内

Teen' s Room vol.13

オリジナルのスノードームを作ろう

お気に入りのビーズやスパンコールを散りばめて、
キラキラ可愛い自分だけのオリジナルスノードーム
を作ってみよう!



●日時…2026年1月25日(日)

14:00~15:30

●場所…おはなし室

●対象…小学5年生~高校生

●定員…10人(申込順)

●申込…2025年1月11日(日)9:00~

龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。

今月の一冊はコレ!



「一場の夢と消え」

(資料コード: 711205005)

著者: 松井 今朝子 / 出版者: 文藝春秋

江戸時代の劇作家、近松門左衛門の生涯を描いた芸道小説です。武家出身から劇作家に転じ、「曽根崎心中」「国性爺合戦」など数々の名作を生み出した近松の苦悩や創作への執念、芸への情熱が描かれています。歌舞伎の歴史や時代背景を含め、芸の深み、人間の強さ、時代を生き抜く覚悟を感じさせてくれます。【表紙画像】出版書誌データベースより

編集・発行 八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

